

概要

引きこもり等の社会的孤立状態の方に対し、就労意欲の喚起、さらには就労による自立を促すためのマンツーマンのアウトリーチを実施

行政課題

社会的孤立状態の方の就労自立及びそれに伴う将来の生活保護費の抑制と税収の増加

引きこもりの人をはじめ、社会的孤立状態の人に対し、いかに就労による自立に向けた意欲喚起を促し、就労に必要な能力向上を支援するかを課題と捉え、民間事業者に委託して生活困窮者の自立支援窓口を開設だけではない、更なる自立支援の強化を検討。

委託概要

- ・ 自宅等から外出困難な引きこもりの人
- ・ 様々な理由から既存の就労支援プログラム等につながない社会的孤立状態の人
- ・ 不登校状態の学生

対象

サービス提供者が設置する自立相談支援窓口相談のあった人等から選定

内容

- ・ 上記対象者に対してアウトリーチ（訪問支援（ 1 ））を実施
- ・ 既存の地方公共団体やNPO等が提供する就労支援プログラムにつなぎ、就労による自立や、就労自立が適切でない場合は、障がい者施策や医療機関の支援につなぐなど適切な社会への関与を促すことを目指す

1：生活クラブ風の村の訪問支援員がサービス対象者を訪問し、趣味の話をしたり、一緒にお茶を飲んだり、カラオケボックスと一緒にいく等により信頼関係を構築し、コミュニケーション能力の向上、外出や人ごみへの慣れ、購買意欲の増加等の効果を得て、就労意欲の向上を目指すものである

期間 令和元年 8 月～令和 2 年 3 月

予算 契約総額950万円
最低支払額450万円
成果連動型支払い上限額500万円

成果

アクション数：実績327回 / 目標197回

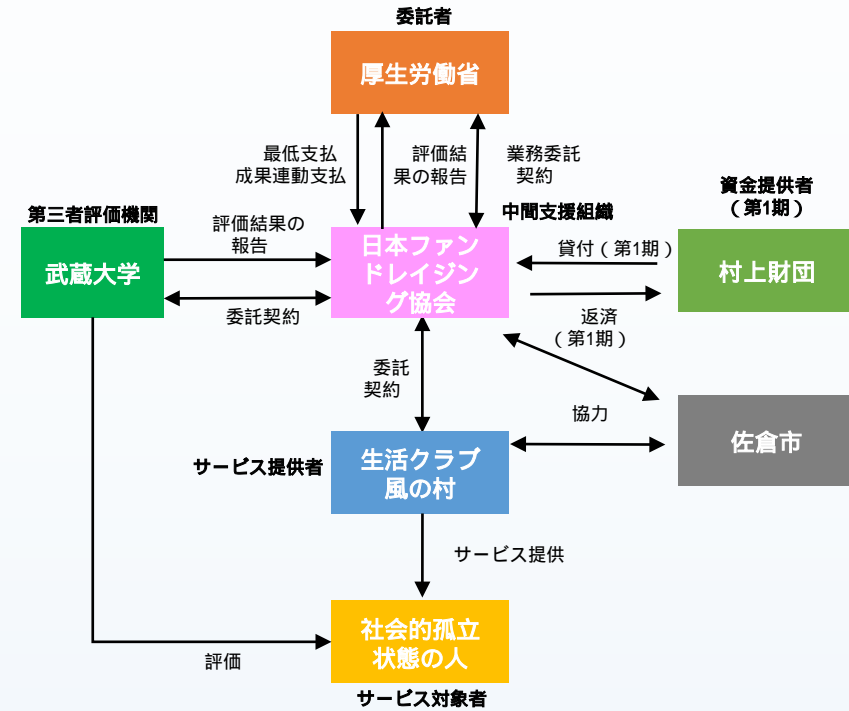
訪問支援員からサービス提供者への面談、電話、関係機関への連絡等

アウトリーチ成功者数：実績5人 / 目標11人

2 回以上、実際に会うことに成功した支援対象者数

ステップアップ値：実績2.45 / 目標1.4

就労、就労に向けた意識面や行動面での変化等のスコアを指す



支払額

785万円

PFS活用の利点

- ・ 今までは一度きりの関係で途切れてしまっていたような社会的孤立状態の利用者に対して、複数回の電話や訪問により、関係性の構築および支援の提供が可能になったことが理解された。
- ・ 目標値の達成状況を関係者間で共有し議論をすることで、対象者像や、効果的な支援体制や支援方法の在り方が明確になった。